

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第544号 令和5年3月・4月



『七福神』 渡邊 哲哉

目 次

	目	次
	頁	頁
1) 保健所だより	西多摩保健所 … 2	8) 理事会報告 広報部 … 12
2) 専門医に学ぶ	白川純平 … 4	9) 会員通知・医師会の動き 事務局 … 15
3) 糖尿病医療連携検討会からの 今月のメッセージ	宮村慧太郎 … 7	10) お知らせ 事務局 … 20
4) 西多摩学校保健連絡協議会	津田倫樹 … 8	11) 2023年度診療報酬請求書提出日一覧表 事務局 … 21
5) 広報だより	菊池 孝 … 9	12) 表紙のことば 渡邊哲哉 … 22
6) 連載企画	古川朋靖 … 10	13) あとがき 三ツ汐 洋 … 22
7) 学術講演会予定	学術部 … 11	

保健所だより

感染症だより 12月

1. 西多摩圏域感染症発生动向

2022年第44週～第47週（10/31-11/27）の間に保健所で受理された感染症について、管内（青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・檜原・奥多摩）の医療機関より以下の報告がありました。

(1) 全数報告疾患 届出件数

〈四類感染症〉

- ・つつが虫病 1件 年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染。

〈新型コロナウイルス等感染症〉

- ・新型コロナウイルス感染症 1499件（疑似症・取り下げ除く暫定値）

(2) 定点報告疾患 届出件数

定点種別	疾患名	第44週	第45週	第46週	第47週
		10/31～	11/7～	11/14～	11/21～
インフルエンザ	インフルエンザ（外来）				
小児科	RSウイルス感染症				1
	咽頭結膜熱		1		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1		
	感染性胃腸炎	37	31	32	14
	水痘		1		
	手足口病	3	2		2
	伝染性紅斑				
	突発性発しん	3	1	1	1
	ヘルパンギーナ				1
	流行性耳下腺炎			1	
	不明発疹症				
眼科	川崎病				
	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎				
基幹病院	細菌性髄膜炎				
	無菌性髄膜炎				
	マイコプラズマ肺炎				
	クラミジア肺炎				
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）				
	インフルエンザ入院				
	合計	43	37	34	19

2. 都内で注目されている定点把握対象疾患 46週（11/14～11/20）時点

- ・インフルエンザの定点当たり報告数が、0.31と先週より増加しています。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数が、5.69と増加しています。

感染症だより 1月

1. 西多摩圏域感染症発生動向

2022 年第 48 週～第 51 週（11/28-12/25）の間に保健所で受理された感染症について、管内（青梅・福生・羽村・あきる野・瑞穂・日の出・檜原・奥多摩）の医療機関より以下の報告がありました。

(1) 全数報告疾患 届出件数

〈二類感染症〉

- ・結核 3件 肺結核 2件、潜在性結核感染症 1件。年齢は 40代 1件、60代 1件、80代 1件。推定感染地は国内 3件。

〈四類感染症〉

- ・つつが虫病 2件 年齢は 50代 2件。推定感染地は国内 2件。推定感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染 2件。

〈新型インフルエンザ等感染症〉

- ・新型コロナウイルス感染症 2666件（疑似症・取り下げ除く暫定値）

(2) 定点報告疾患 届出件数

定点種別	疾患名	第48週	第49週	第50週	第51週
		11/28～	12/5～	12/12～	12/19～
インフルエンザ	インフルエンザ（外来）	3	4	6	21
小児科	RS ウイルス感染症	1			
	咽頭結膜熱				
	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎			3	4
	感染性胃腸炎	34	29	55	41
	水痘	1	3		
	手足口病				
	伝染性紅斑				
	突発性発しん		2		2
	ヘルパンギーナ				
	流行性耳下腺炎				
眼科	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎				
基幹病院	細菌性髄膜炎				
	無菌性髄膜炎				
	マイコプラズマ肺炎				
	クラミジア肺炎				
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）				
	インフルエンザ入院				
	合計	39	38	64	68

2. 都内で注目されている定点把握対象疾患 50 週（12/12～12/18）時点

- ・感染性胃腸炎の定点当たりの報告数が増加しています。
- ・インフルエンザの定点当たりの報告数が流行開始の目安である 1 を超えました。

専門医に学ぶ 第159回

青梅市立総合病院 消化器内科 白川 純平

【症例】 60歳台 女性

【主訴】 黄疸

【現病歴】 1週間ほど前より褐色尿・黄疸症状を自覚しており、前医を受診して血液検査で黄疸を認めることから緊急入院となった。血液検査・CT・MRIの結果、膵のびまん性腫大による閉塞性黄疸の所見を認めた。1週間の絶食・補液の保存加療で黄疸がT-Bil 6.0から3.3 mg/dLまで改善したため、前医を退院して当科外来を紹介受診された。精査・加療を目的として当院へ入院とした。

【既往歴】 なし、健診でも異常を指摘されていない

【内服薬】 なし

【アレルギー歴】 薬物：なし 食物：卵・乳製品・落花生 喘息：なし

【嗜好歴】 飲酒：なし 喫煙：なし

【家族歴】 悪性腫瘍の家族歴なし

【生活歴】 職業：事務職

【入院時身体所見】 vital signs：体温 36.5°C，脈拍 83/min，血圧 106/91mmHg，SpO₂ 99% (RA)，呼吸数 16/min。頭部：眼球結膜に黄染，眼瞼結膜に貧血なし 頸部顎下部等に腫脹・圧痛なし 腹部：平坦軟で圧痛なし。

【入院時検査所見】 血液検査：TP 8.5 g/dl，Alb 4.6 g/dl，LDH 226 U/l，T-Bil 2.0 mg/dl，D-Bil 1.3 mg/dl，AST 172 U/l，ALT 517 U/l， γ -GTP 1713 U/l，ALP 591 U/l，CK 49 U/l，Amy 41 U/l，BUN 12.8 mg/dl，Cre 0.68 mg/dl，Na 140 mmol/L，K 4.6 mmol/L，Cl 102 mmol/L，CRP 0.62 mg/dl，Ig-G 1811 mg/dl，Ig-A 364 mg/dl，Ig-M 80 mg/dl，IgG4 284 mg/dL，血糖 141 mg/dl，WBC 9250 /ul，Hb 14.1 g/dl，Plt 33.0 x 万 /ul，PT-INR 0.94，APTT 30.3 sec。腹部CT：図1。腹部MRCP：図2。

【入院後経過】

入院2日目に膵腫大が原因と考えられる閉塞性黄疸に対して内視鏡的膵胆管造影（ERCP）を施行した。造影所見は図3のようになっており狭窄部分から細胞診を提出し、乳頭に肉眼的異常所見は認めないものの生検施行した。胆管の狭窄部分を越えるように胆管プラスチックステントを留置して、黄色透明な胆汁の良好な漏出を確認した。病理結果としては、胆管細胞診で表層の腺上皮に異型は認められず、間質にはリンパ球や好中球の浸潤を認めた。十二指腸乳頭は上皮に異型はなく、間質にはリンパ球主体、好中球をまじえた炎症細胞浸潤を認めた。いずれも悪性像はなく、強い形質細胞浸潤も認められず、IgG4陽性形質細胞は検体の全体で数個認められるのみであった。これらの検査の結果より、びまん性膵腫大、主膵管の狭細像、IgG4高値の所見から、IgG4関連疾患の自己免疫性膵炎と診断して、入院9日目からプレドニゾロン（PSL）を0.6 mg/日の30 mgを開始した。肝胆道系酵素・黄疸の改善傾向を確認して入院16日目に退院とした。

【退院後経過】

退院後も外来通院いただき PSL を漸減していき退院 5 ヶ月後には 5 mg/日まで減量した。IgG4 も 56 mg/dl へ低下しており、MRI では図 4 の所見であった。今後も当面は PSL 5mg/日 を継続する予定である。

【自己免疫性膵炎】

自己免疫性膵炎は、その発症に自己免疫機序の関与が疑われる膵炎で、IgG4 関連疾患の膵病変である。中高年の男性に多く、膵の腫大や腫瘍とともに、しばしば閉塞性黄疸を認めるため、膵癌や胆管癌などの鑑別が必要である。高 IgG4 血症や自己抗体陽性を高頻度に認め、しばしば下記の膵外病変を合併する。病理組織学的には、下記のような特徴とする lymphoplasmacytic sclerosing pancreatitis (LPSP) を呈する。ステロイドが奏功するが、長期予後は不明である。一方、欧米では IgG4 関連の膵炎以外にも、臨床症状や膵画像所見は類似するものの、血液免疫学的異常所見に乏しく、病理組織学的に好中球上皮病変 (granulocytic epithelial lesion : GEL) を特徴とする idiopathic duct—centric pancreatitis (IDCP) が自己免疫性膵炎として報告されている。男女差はなく、比較的若年者にもみられ、時に炎症性腸疾患を伴う。ステロイドが奏功し、再燃はまれである。国際的には IgG4 関連の膵炎 (LPSP) を 1 型、GEL を特徴とする膵炎 (IDCP) を 2 型自己免疫性膵炎として分類している。診断基準は下記の通りで満たす項目により確診～疑診となる。

有病率は人口 10 万人あたり 4.6 人、罹患率は人口 10 万人あたり 1.4 人と稀で、発見される契機としては閉塞性黄疸・腹痛・背部痛・体重減少・食欲不振・倦怠感等の症状や健診の腹部超音波検査等で偶発的に指摘されることがある。もし疑った際にはお気軽に専門機関へ御紹介ください。

【診断基準一部抜粋】

A. 診断項目

- I. 膵腫大：a. びまん性腫大 b. 限局性腫大
- II. 主膵管の不整狭細像
- III. 血清学的所見高 IgG4 血症 (≥ 135 mg/dl)
- IV. 病理所見
 - ① 高度のリンパ球、形質細胞の浸潤と、線維化
 - ② 強拡大視野当たり 10 個を超える IgG4 陽性形質細胞浸潤
 - ③ 花筵状線維化
 - ④ 閉塞性静脈炎
 - ⑤ EUS—FNA で腫瘍細胞を認めない。
- V. 膵外病変：硬化性胆管炎、硬化性涙腺炎・唾液腺炎、後腹膜線維症、腎病変
- VI. ステロイド治療の効果

【引用】

自己免疫性膵炎臨床診断基準 2018

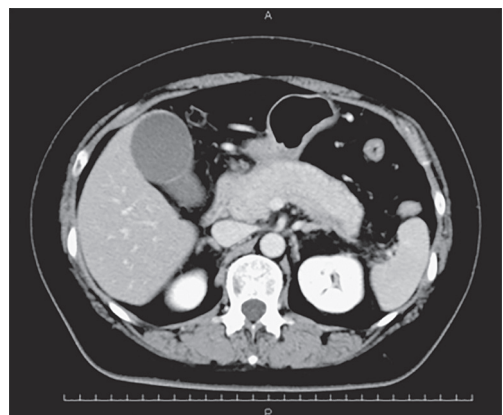


図 1A：膵にびまん性腫大あり

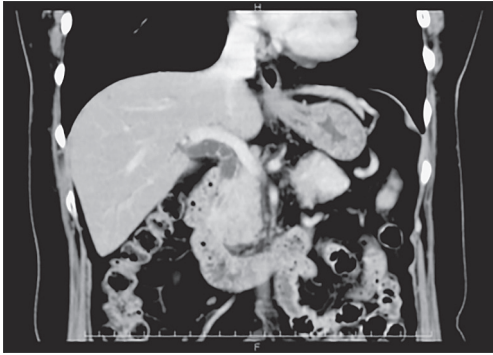


図 1B：胆管は膵内胆管で急峻な狭窄あり，肝内胆管・総胆管で拡張あり

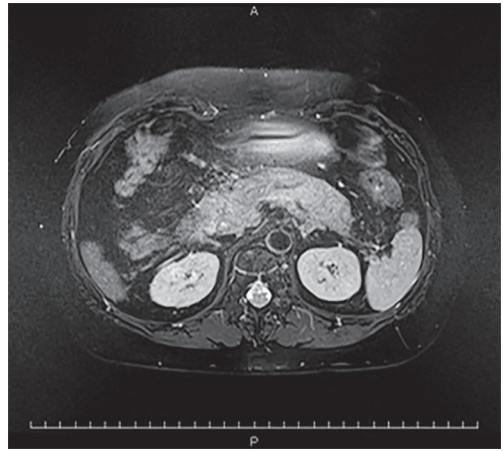


図 2A：膵にびまん性腫大あり

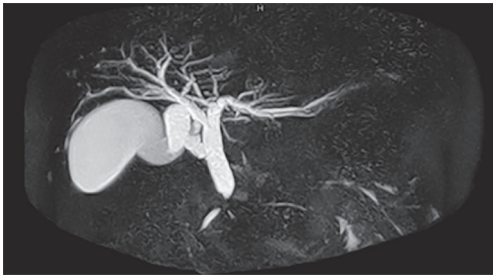


図 2B：胆管は膵内胆管で急峻な狭窄あり，肝内胆管・総胆管で拡張あり，膵管は著明に狭窄.

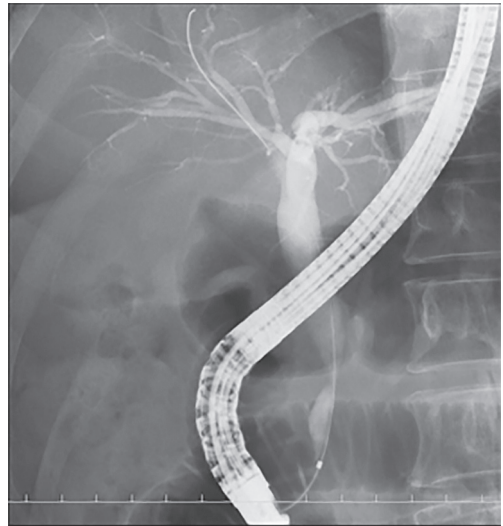


図 3：膵内胆管に軽度の狭窄とそれよりも上流に胆管拡張の所見を認めた

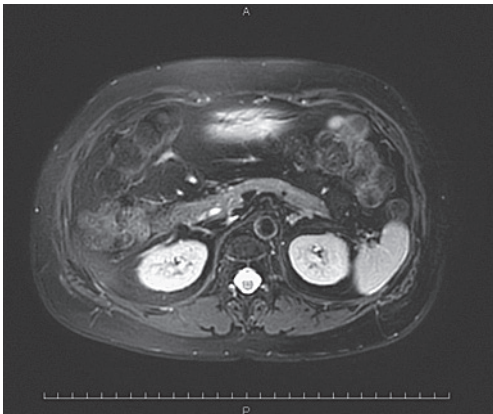


図 4A：膵腫大が改善している

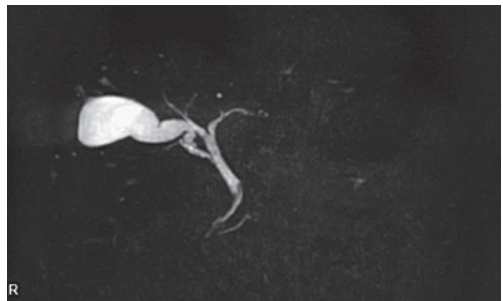


図 4B：胆管狭窄・拡張が改善している (胆管ステント残存)

糖尿病医療連携検討会からの今月のメッセージ

西多摩地域糖尿病医療連携検討会

平素より当検討会の事業にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。当検討会では 2018 年度より会員の皆様に、医師会報を通して糖尿病診療に役立つヒントを得て頂ければと願い「糖尿病診療を再考する症例」をテーマに【糖尿病専門医による症例提示】を企画しております。今回は、青梅市立総合病院 内分泌糖尿病内科 宮村慧太郎 先生に症例提示をお願いいたしました。皆様の日頃の糖尿病診療の一助となりましたら幸いに存じます。

【2型糖尿病の治療経過中に緩徐進行1型糖尿病様の経過で糖尿病性ケトアシドーシスに至った1例】

青梅市立総合病院 内分泌糖尿病内科
宮村慧太郎 先生

【症例】54歳女性 【主訴】上腹部痛、意識障害

【現病歴】X-10年ほど前から糖尿病を指摘され近医で経口血糖降下薬による治療が継続されていた。X-1年11月HbA1cが10.6%と悪化しており薬剤調整が行われた。入院となる2週間ほど前から口渇、多飲、多尿があり、前日から上腹部痛が出現、当日意識障害をきたし当院救急搬送となった。血液検査・尿検査の結果、血糖 893mg/dl、pH 6.829、アニオンギャップ (AG) 29.3 mmol/L、尿中ケトン体 3+であり、糖尿病性ケトアシドーシス (DKA) の診断で同日当科入院となった。

【既往歴】高血圧症、脂質異常症

【常用薬】カンデサルタン 8mg、アムロジピン 5mg、ロスバスタチン 2.5mg、ビルダグリプチン 100mg、メトホルミン 1000mg

【家族歴】糖尿病なし 【生活歴】飲酒：なし、喫煙：5-10本/日

【血液尿検査所見】尿ケトン (3+)、血糖 893mg/dl、HbA1c 13.5%、血中 C ペプチド 0.1 ng/ml、抗 GAD 抗体 < 5.0 U/ml、抗 IA-2 抗体 < 0.6 U/ml、抗インスリン抗体 < 0.4%

【入院後経過】大量輸液とインスリン持続静脈内投与を行い症状は軽快した。感染症の併存は明らかではなかった。インスリンアスパルト・インスリンデグルデクによる Basal-Bolus-Therapy に切り替え、インスリン・血糖測定手技を習得し、第 24 病日に退院となった。

【症例のまとめ】本症例は 2 型糖尿病の治療経過中、血糖コントロールが増悪傾向にあり DKA を発症したが、感染など DKA の誘因となる疾患は明らかではなかった。インスリン分泌能が枯渇していたが、2 型糖尿病の治療経過としてはインスリン分泌能が枯渇するほどの長期の糖尿病罹病歴やコントロール不良な経過はなかったため、1 型糖尿病の発症が疑われた。入院 2 ヶ月以上前から HbA1c が上昇傾向にあり、2 週間前には口渇・多飲・多尿といった高血糖症状を呈していたことから緩徐進行 1 型糖尿病¹を疑い、各自己抗体を提出したがいずれも陰性であり、血清学的な診断には至らなかった。インスリン分泌能は枯渇しているため 1 型糖尿病に準じた治療を継続する予定である。血糖コントロールが急激に増悪した際にはインスリン分泌能の確認や尿ケトン体を確認することなどで 1 型糖尿病の発症についても鑑別する必要がある。

【文献】1. 緩徐進行 1 型糖尿病 (SPIDDM) の診断基準 (2023) 日本糖尿病学会

第38回西多摩学校保健連絡協議会開催

令和5年2月2日(木)福生市さくら会館において、第38回西多摩学校保健連絡協議会が開催された(参加者 59名)。コロナ禍の影響で3年ぶりの開催となり、参加者にはマスクの着用を義務付け、非接触型体温計で体温測定を行い、手指のアルコール消毒を行うなど感染対策に留意しながら行った。午後1時30分より西多摩学校保健連絡協議会代表、西多摩医師会進藤幸雄会長、当番市町村教育委員会代表として福生市教育委員会石田周教育長よりの挨拶で始まり、次いで講演会が行われた。



講演会は、西多摩療育支援センター上代継診療所の吉野邦夫先生を講師としてお招きし、「発達障害の新しい考え方と学校でのサポートについて」をテーマにご講演いただいた。その中で、発達障害とは元来が曖昧で不統一な定義であり、国際的に統一されたものはないこと。従来ある自閉スペクトラム症(ASD)、注意欠如・多動症(ADHD)、学習障害(LD)分類にもオーバーラップする例が多くあること。発達障害かどうかの見極めには年齢的な経過を見る必要があり、また大人になってからの発達障害もあり、年齢制約の撤廃が必要であることなどを説明された。最近注目される話題として、発達障害を一つの個性としてとらえる考え方で、変わっていても社会生活が送れるのであれば問題ないこと、発達障害では周囲の人を見ないことが社会脳の発達を障害する可能性があること、子供を怒鳴ったり、叩いたり、感情に任せて態度を変えるなどのマルチリートメントの問題、作業や動作に必要な情報を記憶・処理するワーキングメモリーを重要視すること、ソーシャルスキルトレーニングやライフスキルトレーニングの活用、会話及び言語障害・学習障害・運動能力障害を認める混合性特異的発達障害の存在、睡眠障害の改善や鉄分の補充で発達障害が改善する場合があること、発達障害のケアでは二が子供の療育で八が家族支援であること(二八療育)などを挙げられた。事前の質問にもお答えいただき、特別支援教育制度の必要性については、かつての「すべてのダウン症児を普通学級に」運動を例に挙げて、統合教育は決して悪いわけではないが、統合教育できるまでに育てるには特別支援教育制度も必要とのことであった。受診までに長い期間がかかる現状については、地道に人材を育てていくしか解決策はないとのことであった。服薬アドヒアランスの向上については、病院で子供自身が報告し服薬できていれば褒めてあげること、いつまで服用するかの見通しを伝えること、中～高生になったら間歇服用法もあることなどを説明された。暴言・暴力への対応については、きっかけや原因を探る「STAR分析法」が有用で、第三者と親で苦悩を共有し、一緒に努力と工夫を行うことが重要と説明された。知覚過敏についてはどの感覚の過敏なのか、心因性または環境性の要因がないのか判断する必要があり、聴覚過敏の場合情報処理能力に問題がある場合もあることを説明された。自傷行為については、どのような自傷なのか、反復常習性があるのか、不安葛藤があるのか、自己刺激が目的なのか、デフォルトモード脳の障害があるのか、コミュニケーションに問題があるのかの判断が必要とのことであった。知覚過敏や自傷行為については、基本的には主治医の分析と治療方針に従うのが原則とのことであった。

以上のような内容で90分にわたりご講演いただき、参加者全員が熱心に聴講し、大変有意義な講演会であった。

広報だより

ChatGPTについて

きくち耳鼻咽喉科クリニック 菊池 孝

昨年末からネット界限で話題の ChatGPT を使用してみた。ChatGPT とは何か？そんな問いかけに対して AI が返答をくれる。以下は実際に使用した結果。

Q：ChatGPT について教えてください。

A：ChatGPT は、OpenAI によって開発された大規模な自然言語処理モデルです。GPT とは「Generative Pre-trained Transformer」の略称であり、Transformer と呼ばれるニューラルネットワークを基にしています。

ChatGPT は、様々な自然言語処理タスクに対して高い精度を発揮することができます。たとえば、テキスト生成、文章要約、翻訳、質問応答、文書分類などのタスクに用いることができます。また、その大きな規模と広範な学習データにより、様々なトピックについて多くの知識を持っているため、自然な人間らしい応答を返すことができます。

ChatGPT は、API として提供されており、開発者が簡単にアクセスすることができます。また、オープンソースであり、自由に使用することができます。

Q：ChatGPT と Google 検索の違いについて教えてください。

A：Google 検索と ChatGPT は、いずれも自然言語処理に関連する技術ですが、その目的や使用方法にはいくつかの違いがあります。

Google 検索は、検索エンジンの一種であり、キーワードを入力することで関連する情報を検索することができます。Google 検索は、ウェブページを自動的にクロールし、その中から最も関連性の高いものを検索結果として表示することができます。Google 検索は、簡単にアクセスできるため、一般的な情報の検索には非常に便利です。

一方、ChatGPT は、自然言語処理の技術を活用して、人工知能による自然な応答を返すことができる会話エージェントです。ChatGPT は、会話をするため、Google 検索とは異なり、人とのコミュニケーションを行う場合に有用です。ChatGPT は、自然な言葉遣いや発話スタイルを模倣することができるため、人間に近い応答を返すことができます。

さらに、Google 検索は、入力されたキーワードに基づいて関連する情報を検索するため、入力されたキーワードが不十分であったり、そのキーワードに関する情報が限られている場合、正確な情報を検索できないことがあります。一方、ChatGPT は、会話相手がどのような言葉で意図を表しているのかを理解し、より正確な回答を提供することができます。

簡単に言えば、Google 検索は、情報の検索や集積に特化した技術であり、ChatGPT は、人との自然な会話に特化した技術です。

Q：ChatGPT の今後はどうなりますか？

A：ChatGPT の今後については、いくつかの可能性が考えられます。

まず、ChatGPT 自体の性能や精度を向上させることが期待されています。OpenAI は、GPT-3 に続く GPT-4 や GPT-5 など、より大規模で高性能なモデルの開発を進めているとされており、これらの新しいモデルが ChatGPT にも反映されることが期待されます。

また、ChatGPT が利用される分野も拡大することが予想されます。ChatGPT は既に会話エージェントとして利用されていますが、今後はより多様な分野に適用される可能性があります。たとえば、ビジネス分野でのカスタマーサポートや、医療分野での診断支援など、ChatGPT が活

用される領域が拡大することが期待されます。

さらに、ChatGPT を用いた新しいサービスやアプリケーションが開発されることも予想されます。ChatGPT は API として提供されており、開発者が簡単にアクセスすることができるため、今後は ChatGPT を活用した新しいサービスやアプリケーションが開発される可能性があります。

総じて言えることは、ChatGPT は自然言語処理技術の最先端に位置しており、今後もその性能や応用分野が拡大することが期待されるということです。

以上の様に、質問に対して回答が送られてくる形で検索ができます。まだ精度に問題があり、特に 2021 年より最近の出来事には対応していないといわれています。間違った回答があると、正しい答えを教えると再検索して訂正してくれます。まだ不安定なところが多いですが、今後の発展に期待が持てるシステムです。興味ある方は、<https://chat.openai.com/auth/login> から sign up をどうぞ！

連載企画

「短編集のすすめ」

永仁醫院 古川 朋靖



連載企画は、私自身の読書の傾向をもとに書かせていただいています。最近、個人的にハマっているものとして、短編集を読むということがあります。短編集と言いましても、同一の作家の短編集を集めたもの、また、同じ視点・テーマでいろいろな作家の短編集を集めたもの、などなどいろいろなタイプがあります。今回取り上げる短編集は、いろいろな作家の短編集を一つの基準で集めてきたものであります。私のおすすめを三冊紹介したいと思います。

第一に「ペンギンブックスが選んだ日本の短編 29」ジェイ・ルービン編です。ペンギンブックスは、イギリスの出版社であり、その出版社目録で日本の短編小説を選んでいきます。外国の人から見た日本の小説といった趣です。取作家としては、三島由紀夫、川端康成、森鷗外などなどから、吉本ばなな、村上春樹など多方面に渡っております。私自身としましては、以前に読んだことがあると思っていたものもありましたが、見事に内容は忘れ去っていました。改めて読んで、また新たに（初めて）読んだ作家もあり、とても新鮮に感じました。なかでも、久しぶりに読んだからかもしれませんが、三島由紀夫の良くも悪くも熱い文体には生々しさを感じました。世界から見た日本という視点では、ぜひ読んでみていただきたいと思いました。（英訳版と違い、日本語版には六編落ちていることが残念でなりません。）

次に集英社文庫編集部が編纂している「短編〜〜」というシリーズを紹介いたします。具体的には、「短編工場」「短編復活」「短編少女」「短編少年」「短編学校」などがあります。今回は、「短編伝説」を紹介いたします。「短編伝説」にも（めぐりあい）（愛を語れば）（旅路はるか）（別れる理由）などの各編があります。今回は、（愛を語れば）を例にとって紹介をしたいと思います。取作家は 19 人。三島由紀夫や吉行淳之介から江國香織や唯川恵など多彩です。久しぶりに吉行淳之介の短編を読んで、中学生の頃、十分に理解することができなかったことが、やや分かるようになっていたりしました。これまで読んだことのなかった作家の小説を読んで、もっと読みたいとも思いました。『短編〜〜』のシリーズでは、小説の前に各作家の略歴が載っているため他の作品の手がかりもすぐに見つかります。生年没年、取作家の発表年などの情報もあるので、その小説の時代背景や場合によっては作品の造られた時代に自分が何をしていたのか、いろいろ

と重ね合わせることで、短編小説であっても深みを増して読むことができました。軽く読むことができるシリーズなので、旅行のお供に最適と思われます。

最後に「日本SFの臨界点」伴名練編という短編集をご紹介します。このシリーズも現在は、5作品出版されており、各々テーマが決まっています。今回紹介するのは「怪奇篇ちまみれ家族」になります。11人の作家の小説が掲載されています。私自身日本のSF小説をあまり読まないで、ほぼすべての作家が初めて読むことになりました。ほぼすべてと言ったのは、一人だけ読んだことのある作家がいました。私としてはSF作家とは考えておりましたが、中島らもの作品が掲載されておりました。先の「短編伝説」にも掲載がありました。ちょうど医学部を卒業して研修医だった頃に登場した作家と思います。私の中では奇抜すぎて、当時はあえて傾倒しなかったことを覚えております。今、再び読んでみて、やはり奇才、異才という言葉が合うのかもしれない。しかしながら、現代では出てこないであろう作家であるし、何かに取り憑かれて小説を書いているのかと思わせるものがありました。少し、他の作品も深読みをしていこうかと思いました。この短編集にも作者の略歴は載っております。それもかなり長文の紹介があります。私自身、あまり縁のない作家が多かったので、作家の詳細がわかるというのは、とても参考になりました。SF好きであればお勧めできると思います。

今回、三冊の短編集をご紹介します。私自身、紹介した作品の他のシリーズを全部読んでいるかというのと、そうではありません。今後少しずつ読んでいこうかと思ひます。短編集の良いところは、比較的簡単に読めて、なおかつ新鮮な発見に溢れていることと思ひます。皆様も、ちょっとした隙間時間に短編集を手にとってみられることをお勧めいたします。

◇学術講演会予定

令和 5.2.16

開催日	開始～終了 時間	会場	単 位 数	CC	集会名称・演題	講師（役職・氏名）
3/3 (金)	19:30 ～ 20:30	【Web配信】 又は、 西多摩 医師会館	1	28	学術講演会 「西多摩感染症フォーラム」 演題「COVID-19の最新知見」	聖マリアンナ医科大学感染症学講座 主任教授 國島 広之 先生
3/8 (水)	19:00 ～ 20:00	【Web講演】	1	76	学術講演会 「Diabetes Online Meeting」 演題「SGLT2 阻害薬の選択は加点法 か減点法か～糖尿病診療が進む べき道～」 【ディスカッション】	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 離島・へき地医療学講座 助教 野中 文陽 先生
3/16 (木)	19:30 ～ 21:30	西多摩 医師会館 より 【Web講演】	2		西多摩パネルディスカッション2023 【テーマ：心不全の診断と治療】 演題「心房性の機能性MR & TRに よる心不全」 演題「薬物療法 有効症例と無効症 例」 演題「心不全の非薬物的治療」	公立福生病院 循環器内科 医長 高橋 聡介先生 公立阿伎留医療センター 循環器内科 部長 松永 洋一先生 青梅市立総合病院 循環器内科 医長 矢部 顕人先生
3/23 (木)	19:00 ～ 20:00	【Web講演】	1	76	学術講演会 演題「糖尿病治療における早期治療 の重要性について」	杏林大学医学部 糖尿病・内分泌代謝内科 講師 近藤 琢磨 先生
3/30 (木)	19:30 ～ 20:30	【Web講演】	1		学術講演会 「不眠症診療セミナー in 西多摩」(案) 演題「私の睡眠薬の減薬・休薬方法 (仮)」	スリープ・サポートクリニック 理事長 林田 健一 先生

理事会報告

★ Information

12月定例理事会**令和4年12月27日(火)****西多摩医師会館**

(出席者：進藤(幸)・古川・進藤(晃)・田中・土田・井上・下村・鈴木・津田・三ツ汐・湯田・野口・野本・近藤) 下線はWeb参加

【1】報告事項**(1) 都医地区医師会長連絡協議会報告**

資料により、12/16に開催された標記協議会における都医からの伝達事項等について説明・報告

(2) 各部報告

公衆衛生部：12/27の「地区医師会感染症担当理事連絡会」の内容等について

学術部：12/16部会開催、「臨床報告会」(2/17)・「パネルディスカッション」(3/16)の開催を決定

(3) 地区会報告(各地区理事)

青梅市 12/15 青梅市三師会役員会開催

【2】報告承認事項**(1) 入退会会員、会員異動について**

資料により、正会員2名・準会員1名の入会申請が報告・紹介され承認された
また、正会員1名の退会及び2件の異動届が報告・紹介された

(2) 令和5年度羽村市立学校学校医の推薦について(依頼)

標記依頼につき、羽村地区より前年度と同様の先生を推薦することが提案され承認された

【3】協議事項**(1) 大気汚染障害者認定審査会委員の推薦について(依頼)**

資料により依頼内容及び資料にある前期委員(3名)に継続就任の内諾済みであることが紹介され、前期同様の先生を推薦することが提案され可決承認された

(2) 東京都立青梅看護専門学校運営会議及び学校関係者評価委員会委員の就任について(依頼)**【4】その他****総務部・経理部からの依頼**

「2023年度の事業計画及び収支予算」作成に係る事業担当理事の意向・検討と報告について参考資料として今年度の事業計画等が配布され、2023年度事業計画(案)の検討・策定について各役員に依頼 また、新規事業・変更・廃止等及び予算に変更等ある場合は事務局に連絡することとされた

1月定例理事会

令和5年1月24日(火)

西多摩医師会館

(出席者：進藤(幸)・古川・進藤(晃)・田中・土田・井上・下村・鈴木・津田・三ツ汐・湯田・野口・野本・近藤) 下線はWeb参加

【1】報告事項**(1) 都医地区医師会長連絡協議会報告**

資料により、1/20に開催された標記協議会における都医からの伝達事項等について説明・報告

(2) 各部報告

学校医部：2/2に「西多摩学校保健連絡協議会」が開催される件について

(3) 地区会報告(各地区理事)：

あきる野市 1/20に理事会、1/23に例会を開催

瑞穂町 1/17に定例会開催

【2】報告承認事項**(1) 入退会会員、会員異動について**

資料により、準会員1名の入会申請が報告・紹介され可決承認された
また、正会員1名、準会員1名の退会が報告・紹介された

(2) 2023年度診療報酬請求書提出日について

資料により、標記提出日(案)が示され承認された

(3) 令和5年度日の出町立小・中学校医の推薦について

標記依頼については、大久野中学校の伊藤先生を除き資料にある医師を推薦することが承認された

(4) 令和5年度日の出町小・中学校耳鼻科検診医の推薦について**(5) 令和5年度日の出町小・中学校眼科検診医の推薦について****(6) 令和5年度市立保育園囑託医(内科医)の推薦について(依頼)**

上記3件の依頼については、各々地区会にて調整が済んでいることから、資料にある医師を推薦することが承認された

(7) 「保険指導整備委員会」の名称変更について

資料により、保険講習事務受託事業の内容変更に係る都医からの通知内容等が説明され、従来の委員会名称が求められていることから「保険指導整備委員会」を「医療保険委員会」に名称変更する必要性が説明・報告され承認された

【3】協議事項**(1) 「2023年度の事業計画」(案)について**

前回理事会以降の各担当による事業内容等検討確認に基づき、今年度とほぼ同一の計画案が示されたが、一部に次年度事業としての実施を再確認・検討する必要性が認められ、再度検討協議することとした

(2) 鈴木事務長退職に伴う功労金支給について

2月の定年退職にあたり、長年の功績に対する功労金として641,280円を退職金に加算し支給することが提案され可決承認された

(3) 鈴木事務長退職に伴う後任事務長選任について

鈴木事務長の定年退職に伴い、定款第54条1項・2項により後任事務長として山本芳昭を任免することが提案され可決承認された

【4】 その他

医療懇話会（2/4）における行政への提案事項について（西多摩地域医療発展・向上のための意見提示内容について）

2/4に開催される「西多摩地域医療懇話会」において、西多摩の地域医療発展・向上のため現状・課題等を説明・提案し、行政等の協力・支援を呼びかける内容について資料により紹介・報告

2月定例理事会

令和5年2月14日（火）

西多摩医師会館

（出席者：進藤（幸）・古川・進藤（晃）・田中・土田・井上・下村・鈴木・津田・三ツ汐・湯田・野口・野本・近藤） 下線はWeb参加

【1】 報告事項

(1) 各部報告

公衆衛生部：資料により、1/24の「地区医師会感染症担当理事連絡会」の内容等について

総務部：2/4に開催された「西多摩地域医療懇話会」の状況等について

学校医部：資料により、2/2の「西多摩学校保健連絡協議会」の内容等について

病院部：資料により、2/3の「令和4年度地区医師会救急担当理事・東京都指定二次救急医療機関代表者合同連絡会」の内容等について

(2) 地区会報告（各地区理事）：

羽村市 2/21 定例理事会予定

【2】 報告承認事項

(1) 入退会会員、会員異動について

資料により、準会員3名の入会申請が報告・紹介され承認された

(2) 令和5年度 町立小・中学校の学校医の推薦について（依頼）

(3) 令和5年度 町立小・中学校の学校眼科医の推薦について（依頼）

(4) 令和5年度 町立小・中学校の学校耳鼻科医の推薦について（依頼）

上記3件の依頼（瑞穂町）については、地区会にて調整が済んでいることから、資料にある医師を推薦することが承認された

(5) 令和5年度日の出町立大久野中学校校医の推薦について（依頼）

前回保留となっていた大久野中学校の学校医として青木正明先生の推薦が提案され承認された

- (6) 令和5年度あきる野市立小・中学校学校医（内科医・精神科医）の推薦について（依頼）
標記依頼については、地区会にて調整が済んでいることから、資料にある医師を推薦することが承認された
- (7) 令和5年度檜原村小・中学校耳鼻咽喉科及び眼科検診の承諾について
標記につき依頼内容（資料）の通り承諾することが承認された

【3】協議事項

(1) 2023年度の事業計画（案）について

前回理事会以降に検討された最終計画案（資料）について修正内容等が説明され協議、示された事業計画案の通り可決承認された

(2) 特定健診・特定保健指導受託機関の受託基準情報公開義務について

資料により、特定健診の受託機関は、受託基準情報（運営についての重要事項に関する規程の概要）をホームページで公開する必要があることを保険担当理事より説明された
特定健診開始当初は西多摩医師会のホームページでも情報公開していたものの現在は削除されていることから、改めて各地区会員より情報収集し、西多摩医師会のホームページで特定健診受託機関について情報公開することが提案され可決承認された

会員通知

- 会報1-2月号
- 宿日直表（青梅・福生・阿伎留）
- 2023年度診療報酬請求書提出日一覧表
- 年始提出物締切日についてのお知らせ
- 高齢者インフルエンザ請求の締切りについて
- 学術講演会（2/1、2/13、3/2）
- 脳卒中市民公開講座開催案内（3/4）
- 西多摩歯科医師会「公開講演会」（3/4）
- 第20回西多摩医師会臨床報告会のお知らせ（2/17）
- 令和4年度第2回在宅医療講座受講者募集のお知らせ（3/15）
- 産業医研修会（三鷹市医師会 3/18）
- 医療保険委員会からのお知らせ（新型コロナウイルス感染症患者に対する処方箋の記載に関して）
- ” ” （オンライン資格確認、オンライン請求に関する届出に関して）
- 青梅市立総合病院より「消化器内科からのお知らせ」
- 公立福生病院より「病診連携講演会」開催案内（1/23）
- 都立小児総合医療センターより「皮膚科外来の診療体制について」
- ” ” 「医療連携だより」
- 認知症疾患医療センターより「令和4年度東京都かかりつけ医「認知症」研修」開催案内（1/22）
- 西多摩地域脳卒中医療連携検討会の開催案内について（3/7）
- 西多摩地域糖尿病医療連携検討会の開催案内について（3/9）
- 「糖尿病合併症を理解するための勉強会（歯科医師）」開催案内（2/16）
- 青梅マラソン救護医師の協力依頼（2/19）
- ポストコロナ10daysルールの徹底について
- 西多摩医師会館近隣道路通行止めのお知らせ（2/17 9:00～18:00）
- 外来感染対策向上加算地域連携合同カンファレンスの開催案内 於：公立福生病院（1/12）
- 外来感染対策向上加算地域連携合同カンファレンスの開催案内 於：公立阿伎留医療センター（1/17）

- 外来感染対策向上加算地域連携合同カンファレンスの開催案内 於：青梅市立総合病院 (1/24)
- 外来感染対策向上加算地域連携合同カンファレンスの開催案内 於：青梅市立総合病院 (2/14)
- 「がん治療連携指導料」の施設基準届出に係る連携保険医療機関の新規追加及び届出内容の変更等について (令和5年4月1日算定)
- 西多摩保健所医療安全支援センター住民向け講演会の開催について「医師への上手なかかり方」
- 都立小児総合医療センター「療育チーム勉強会」(2/9)
- 東京都肝疾患診療連携拠点病院「第3回医療従事者肝疾患研修会」(2/19)
- 青梅市立総合病院だより
- 認知症疾患医療センター「センターだより」
- 青**高校生等医療助成制度の開始について
- 学校医会報
- 小児在宅サポートチーム勉強会のご案内について (2月分)
- 小児在宅サポートチーム勉強会のご案内について (3月分)
- 日本肺癌学会「肺がん検診のための胸部 X線読影・自己演習システム」について
- がんの緩和ケアに関する資料の周知について
- コロナ・インフルエンザ Web システム活用促進のお願いについて
- 新型コロナウイルス感染症及び季節性インフルエンザ同時期流行下における「薬局での医療用抗原定性検査キットの取扱い」及び「一般用新型コロナウイルス・インフルエンザウイルス抗原定性検査キットの販売時における留意事項」について
- 文部科学省発出「『年末年始の感染対策についての考え方』について」の送付について (情報提供)
- 新型コロナウイルス感染症に関するリーフレットの改訂について
- 「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」及び官民連携協議会について
- 医療用解熱鎮痛薬等の安定供給に関する相談窓口の設置及び協力依頼
- 発熱等のある15歳以上患者の休日診療促進事業の実施について
- 「新型コロナウイルス感染症『後遺症』オンライン研修会」収録動画の公開について
- 医療従事者のオミクロン株対応ワクチン接種の接種促進について (依頼)
- 令和4年度東京都アレルギー疾患治療専門研修のご案内について
- 「新型コロナワクチン 予診票の確認のポイント Ver 9.0」について
- 令和4年度「自殺対策における専門的人材養成事業」の実施について
- ネットワーク機器 (FortiOS) に関する脆弱性情報への対応について
- 令和4年度東京都医師会産業医前期研修会の開催について
- 令和4年度厚生労働省委託事業「在宅医療関連講師人材養成事業」における研修会(講義動画配信の実施について)
- 中医協答申書について (医療DXの基盤となるオンライン資格確認の導入の原則義務付けに係る経過措置、医療情報・システム基盤整備体制充実加算の取扱い及び医薬品の安定供給に係る取組の推進に向けた診療報酬上の加算の取扱いについて)
- オンライン資格確認の導入の原則義務付けに係る経過措置について
- 医療事故情報収集等事業「医療安全情報」の提供について
- 令和4年度母子保健講習会の開催について
- ジフテリア、百日せき、急性灰白髄炎及び破傷風に係る定期の予防接種の接種対象者拡大について
- 令和4年度児童虐待対応研修【専門講座第5回】の開催について
- マイナンバーカードの取得、健康保険証利用申込及び公金受取口座登録の促進について
- 抗インフルエンザウイルス薬等の安定供給について
- TMA 近未来医療会議第3回公開シンポジウムのミーティング番号等のお知らせ及び再周知ご協力のお願いについて
- オンライン資格確認等システム導入の経過

- 措置等要望のためのアンケート調査ご協力の御礼とデータの送付について
- 東京都医療機能実態調査への協力について(再周知)
 - 「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 病原体検査の指針 (第6版)」について (情報提供)
 - 厚生労働省「疑義解釈資料の送付について (その36)」の送付について
 - オンライン請求医療機関に対する返戻再請求のオンライン化に関する周知広報資料の送付について
 - 第31回日本医学会総会における産業医セッションのサテライト会場開催の周知について
 - 厚生労働省委託事業令和4年度「医療情報セキュリティ研修及びサイバーセキュリティ インシデント発生時初動対応支援・調査事業」に関する周知について
 - 「PHR 活用に向けた医師宛アンケート」のご協力依頼について
 - 日本医師会のホームページ並びに公式 YouTube チャンネルへのリンクのご依頼について
 - With コロナの新たな段階への移行に向けた全数届出の見直しについて (一部改正)
 - ウガンダ共和国におけるエボラ出血熱の終息宣言 (情報提供)
 - 「宗教の信仰等に関係する児童虐待等への対応に関するQ & A」について
 - 面接指導実施医師養成講習会受講受付開始について (情報提供)
 - フォシーガ錠 5mg 及び同錠 10mg の保険適用に係る留意事項の一部改正について
 - 第31回日本医学会総会 事前参加登録のお願い
 - 公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故情報収集等事業第71 回報告書の公表について
 - 令和4年度第2回主治医研修事業 (介護保険制度・障害者総合支援法) 研修会の開催について
 - 令和4年度地域小児医療研修事業 (第2回小児救急研修会) の実施について
 - 令和4年度第2回産業医 Web 研修会の開催について
 - 令和4年度「東京都医師会 地域包括診療加算・地域包括診療料に係る かかりつけ医研修会」の受講者募集並びに参考資料について
 - 令和4年度「治療と仕事の両立支援」オンライン地域セミナーの開催について
 - 令和4年度職務関係者研修 (第5回) の周知について
 - 新型コロナウイルス感染症の経口抗ウイルス薬 (ゾコバ) の使用にあたっての注意喚起について
 - 乾燥細胞培養日本脳炎ワクチンの限定出荷の解除について
 - 令和4年度「都民アレルギー講演会」の開催について
 - 令和4年度 東京都在宅療養推進シンポジウム「在宅療養に関わる医療介護従事者に対するハラスメント対策について」の開催について
 - 「医療安全支援センター「患者の声相談窓口」のご案内」の配布について
 - 令和4年度「日本医師会生涯教育講座」の追加開催について
 - 集団指導用 e ラーニングコンテンツの日医ホームページへの掲載について
 - 令和4年度麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動都民大会の動画配信について
 - 医療用解熱鎮痛薬等の在庫逼迫に伴う協力依頼
 - 東京都難病・がん患者就業支援奨励金の周知について
 - 令和4年度東京都肝炎コーディネーター養成研修会の御案内について
 - 令和4年度「医療情報の理解促進に関する研修会」の開催について
 - 「医療従事者様向け ご招待カード」転売・換金禁止のお願い
 - 「新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方及びその疑いがある方の 処置、搬送、葬儀、火葬等に関するガイドライン」の改正について
 - 医療事故調査制度研修会の開催について

- 日本医師会・日本がん登録協議会共催シンポジウム「がん登録データと個人情報保護」の開催について
- 独立行政法人福祉医療機構による医療貸付事業融資制度利用希望者に対する個別融資相談会の開催について
- 花粉症一口メモの送付について
- 埼玉県における高病原性鳥インフルエンザ「疑似患畜」の発生について (情報提供)
- 医療機関における救急医療のひっ迫回避に向けた取組について
- 警視庁より連続窃盗事案についての注意喚起 (再周知)
- インフルエンザの流行注意報発表に伴う予防及びまん延防止対策の徹底について
- 電子情報処理組織等を用いた費用の請求等に関する取扱いについて
- オンライン請求医療機関に対する返戻再請求および再審査申出のオンライン化に関するQ & A (その2) の送付について
- 厚生労働省「疑義解釈資料の送付について (その41)」の送付について
- 保護具着用管理責任者に対する教育の実施について (周知依頼)
- 第34回 医療とICTシンポジウムの開催について
- 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更等に関する対応方針について (情報提供)
- ファイザー社ワクチン及びモデルナ社ワクチンの有効期限の取扱いについて
- 季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行に伴う発熱患者の診療・検査に用いる抗原定性検査キットの有償配布について
- 令和4年度東京都アレルギー疾患治療専門研修のご案内について
- 令和4年度ぜん息治療講演会における講演動画および資料の掲載について
- 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針の変更等について
- 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更等に関する対応方針について (情報提供)
- 医療事故情報収集等事業「医療安全情報」の提供について
- 令和5年4月1日からの診療報酬上の特例措置について
- 調布市内の飲食店での食事による食中毒について (情報提供)
- 保険医療機関及び保険医療養担当規則等の一部改正に伴う実施上の留意事項について

医 師 会 の 動 き

令和5年2月16日現在			
医療機関数	188	病 院	28
		医院・診療所	160
会 員 数	497	正会員	205
		準会員	292

会 議

1月19日	在宅難病調整委員会
24日	定例理事会
2月2日	西多摩学校保健連絡協議会
4日	西多摩地区医療懇話会
14日	定例理事会
20日	広報部会 (会報編集)
28日	定例理事会

講演会・その他

1月6日	保険整備会
19日	「糖尿病合併症を理解するための勉強会 (眼科専門医)」 (Web配信) 演題:「糖尿病の眼合併症について」 演者:かごしま眼科 院長 鹿児島 武志 先生
26日	「糖尿病教室」 (書面開催) 講義1:「糖尿病の眼合併症について」かごしま眼科 院長 鹿児島 武志 先生 講義2:「中食・外食について」 内田せつ子先生
2月1日	学術Web講演会 『DiaMond Live Seminar in

Tokyo 』

【Opening remarks】

医療法人財団 利定会 進藤医院

院長 進藤 幸雄 先生

〈講演〉

演題：「糖尿病と認知症」

演者：草加市立病院 内分泌・代謝内科 医長 足立 由布子 先生

9日 保険整備会

9日 法律相談

16日 「糖尿病合併症を理解するための

勉強会（歯科医師）」（Web 配信）

演題：「糖尿病と歯周疾患の基礎」

演者：おおの歯科医院 院長

大野 博文 先生

17日 第20回西多摩臨床報告会（西多摩医師会館、Web 配信）

〈講演〉

(1) 「透析自己中断により尿毒症性心外膜炎による心タンポナーデをきたした一例」

青梅市立総合病院 腎臓内科医員 篠遠 朋子 先生

(2) 「公立福生病院における放射線治療の現状と課題」

公立福生病院 放射線治療科 診療部 部長 林 敬二 先生

(3) 「大腿ヘルニアを契機に診断された子宮体癌の一例」

公立阿伎留医療センター 外科医員 水野 歩実 先生

(4) 「当院で経験した高齢発症の妄想性障害の一例について」

秋川病院 院長 植田 宏樹 先生

(5) 「高齢化社会に注目すべき重要ミネラルの知識 ーリンについてー」

目白第二病院 副院長 外科部長 水野 英彰 先生

24日 「糖尿病教室」（書面開催）

(予定) 講義1：「糖尿病と心臓の関係について」 青梅市立総合病院

栗原 顕 先生

講義2：「感染症に負けない食生

活」内田せつ子 先生

役員出張

1月11日 地域医療構想会議座長副座長勉強会

13日 西多摩保健所難病対策地域協議会

18日 第7回新型コロナウイルス感染症医療機関等連絡会

20日 地区医師会長連絡協議会

24日 第9回地区医師会感染症担当理事連絡会

26日 東京都地域医療構想調整会議「在宅療養ワーキンググループ」

30日 西多摩地域保健医療協議会「地域医療システム化推進部会」

2月2日 学校保健連絡協議会

3日 地区医師会救急担当理事・東京都指定二次救急機関代表者合同連絡会

6日 地域医療構想調整会議

9日 西多摩地域保健医療協議会「生活衛生部会」

13日 西多摩地域保健医療協議会「保健福祉部会」

17日 地区医師会長連絡協議会

22日 西多摩新型インフルエンザ等感染症地域医療体制ブロック協議会社会福祉地域医療部会

27日 第19回西多摩保健医療圏地域災害医療連携会議（福生ブロック）

28日 第10回地区医師会感染症担当理事連絡会

【入会会員】（正会員）

氏名 森島 政和

勤務先 (医社) 福聚会 神明台クリニック

出身校大学 広島大学 平成15年3月卒

氏名 小島 基宏

勤務先 (医社) 福聚会 しんまち総合クリニック

出身校大学 藤田医科大学 平成2年3月卒

【退会会員】(正会員)

氏名 塩澤 三朗(死亡)
勤務先 (医社) 福聚会 神明台クリニック

氏名 篠遠 朋子
勤務先 青梅市立総合病院
出身校大学 千葉大学 平成28年3月卒

氏名 八木 啓一
勤務先 (医社) 福聚会 しんまち総合クリニック

【退会会員】(準会員)
氏名 鈴木 佑奈
勤務先 公立阿伎留医療センター

【入会会員】(準会員)

氏名 佐藤 美浩
勤務先 公立福生病院
出身校大学 秋田大学 平成9年3月卒

【管理者変更】
(医社) 福聚会 神明台クリニック
(新) 森島 政和
(旧) 塩澤 三朗

氏名 谷村 薫
勤務先 公立阿伎留医療センター
出身校大学 日本大学 平成31年3月卒

氏名 野本 英嗣
勤務先 野本医院
出身校大学 日本医科大学 平成21年3月卒

氏名 青木 正明
勤務先 (医社) 崎陽会 日の出ヶ丘病院
出身校大学 日本医科大学 昭和54年9月卒

.....

訃 報

あきる野市 まつもと耳鼻咽喉科
院長 松本 学先生 御母堂様

松本 アキ子様 (86歳)

去る令和5年2月12日 逝去されました。
謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈りいたします。



お 知 ら せ

保険請求書類提出締切日

令和5年4月(3月診療分) **4月7日(金)** 正午迄
令和5年5月(4月診療分) **5月9日(火)** 正午迄
(締切日以前の提出も可能です)

法 律 相 談

西多摩医師会顧問弁護士 堀 克己先生による法律相談を
毎月**第2木曜日 午後2時**より実施いたします。
お気軽にご相談ください。

- ◎相談日 **4月13日(木)**
5月11日(木)
- ◎場 所 西多摩医師会館
- ◎内 容 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・
刑事に関するどのようなものでも結構です。
- ◎相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)
- ◎申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
(注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

2023年度診療報酬請求書提出日一覧表

2023年度（2023年4月～2024年3月）各月の診療報酬請求書提出期限は下記の通りです。

2023年	4月7日（金）	正午まで
	5月9日（火）	//
	6月8日（木）	//
	7月7日（金）	//
	8月9日（水）	//
	9月7日（木）	//
	10月6日（金）	//
	11月9日（木）	//
	12月7日（木）	//
2024年	1月9日（火）	//
	2月8日（木）	//
	3月7日（木）	//

※ 提出期限前でもご提出いただけます。

表紙のことば



『七福神』

七福神は何故宝船に乗ってくるのでしょうか？

江戸時代に、一月二日の夜に見る夢を初夢とする習俗が広がり、「初夢を見る日には枕の下に七福神の宝船の絵を敷くと良い」という俗説が生まれたことで、江戸の町では木版印刷の宝船を売

り歩く者の姿が目立ち、七福神といえば七柱の神様が「寶（たから）（宝）」と書いた帆を上げた宝船に乗った図を思い浮かべるようになったからのようです。

絵は浮世絵の宝船を参考にして、宝が散りばめられたようにラメを沢山塗して、照明によりキラキラ光る絵にしてみました。沢山の福を運んでくれるように。

渡邊哲哉

あとがき

時は少しずつ動きつつあるようです。コロナに関しては、このところ（2023年2月中旬）感染者数がようやく減少傾向になってきています。5月からはいよいよ感染症2類から5類に変更となる予定となっています。今後また新たな変異株が出てきて感染者数が増加するかもしれませんが、もう皆かなり慣れてきたという感じでしょうか。実際、外来で診療していると、「先生、実はこのあいだコロナにかかっていました。」「家族がかかって、濃厚接触者になっていました。」という患者さんが多くいらっしゃいます。正確に数えたわけではありませんが、感覚的には半数近くの人がそのような経験をしているように感じます。大きなモールに買い物に行っても、結構な人出で、ほとんどコロナ以前に戻っているように感じます。確かにインフルエンザ並みの認識が変わってきているという印象があります。

一方で、ウクライナのほうは、まだまだ戦争状態は続きそうで、双方で戦力の拡大をしていっているように見えます。間に入って和

平交渉をしてくれそうだったトルコでは大きな地震があつて（現在のところ約4万人が亡くなったという）、自国のことで手いっぱいのようなのです。物価の高騰は続き、特に電気代は、クリニックでも、自宅でも、以前の1.5倍ほどになっていて、ちょっと痛いところです。さらにまた上がるという話があり、結局、2倍くらいになるのではないかと恐れています。ドイツなどではガス代は3倍になったという話ですからまだまだましなのではないでしょうか。最近、北欧とドイツを旅行してきた人から話を聞いたところ、どこも暖房を落としていて、ホテルにいても寒くて仕方なかったとのことでした。かなり節約している様子でした。

世の中の動きに合わせて自分も変わっていった、何とか自衛していくしかないのかなと思うところです。とはいっても、医師会を含め、いろんな会合もWeb参加というのが増えてきていますが、まだ全然慣れていなくて、十分活用できていないのが現状です。

ちひろメンタルクリニック

三ツ汐 洋

一般社団法人 西多摩医師会

令和5年3月1日発行

会長 進藤幸雄 〒198-0042 東京都青梅市東青梅1-167-12 TEL 0428 (23) 2171・FAX 0428 (24) 1615

会報編集委員会

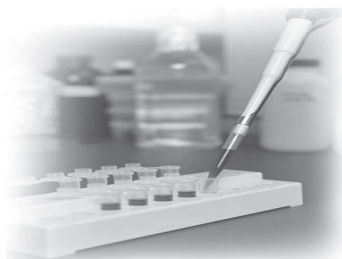
三ツ汐 洋 下村 智 鹿兒島武志 菊池 孝 奥村 充
馬場 一徳 小高 哲郎 近藤 之暢 古川 朋靖 神應 知道

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428 (22) 3047・FAX 0428 (22) 9993

生命の輝きをみつめ

“いつの時代も、地域医療とともに”

ひとりひとりの健康で豊かな社会生活を掲げ
地域に根ざした検査所として歩んできました。
高度な技術と最新の設備で地域医療の
さまざまなニーズに対応しています。



登録衛生検査所

株式会社 武蔵臨床検査所

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢 309-8

TEL ; 04-2964-2621 FAX ; 04-2964-6659

URL ; <http://www.e-musashi.co.jp>

国民の健康と医療の向上をめざす

東京保険医協会

医師会と保険医協会はくるまの両輪です。
医師会の会員の皆様にも保険医協会への入会をおすすめします。

資料請求は
こちらまで!



元西多摩医師会会長 松原 貞一

元西多摩医師会会長 真鍋 勉

減点や返戻等の保険請求対策、年金や休業保障等の多彩な共済制度で
保険医協会はこれからも先生方をサポートして参ります。

〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-7 KDX新宿ビル4F TEL:03-5339-3601
FAX:03-5339-3449 E-mail:info@hokeni.org <http://www.hokeni.org/>

東京保険医協会 検索